

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公表番号】特表2017-524656(P2017-524656A)
 【公表日】平成29年8月31日(2017.8.31)
 【年通号数】公開・登録公報2017-033
 【出願番号】特願2016-569651(P2016-569651)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 K 31/7088 (2006.01)
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)
 A 6 1 P 19/00 (2006.01)
 C 0 7 K 16/22 (2006.01)
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 39/395 Z N A D
 A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 K 31/7088
 A 6 1 K 48/00
 A 6 1 P 19/00
 C 0 7 K 16/22
 C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成30年5月25日(2018.5.25)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

抗FGF23抗体を含む、異常なFGF23レベル及び/又は活性に関連する低リン酸血症性疾患の治療剤であって、前記抗FGF23抗体が、そのような治療を必要とする被験者に、約2週間毎に投与される、前記治療剤。

【請求項2】

低リン酸血症性疾患が、常染色体優性低リン酸血症性くる病(ADHR)、X染色体連鎖低リン血症(XLH)、常染色体劣性低リン酸血症性くる病(ARHR)、線維性骨異形成症(FD)、線維性骨異形成症(MAS/FD)を合併したマックキューン-オールブライト症候群、Janzen骨幹端軟骨形成不全症(Janzen症候群)、常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)、腫瘍性骨軟化症(TIO)、及び慢性代謝性アシドーシスからなる群から選択される、請求項1に記載の治療剤。

【請求項3】

低リン酸血症性疾患が、XLHである、請求項1に記載の治療剤。

【請求項4】

抗FGF23抗体が、配列番号1、配列番号2、配列番号3、配列番号4、配列番号5、及び配列番号6からなる群から選択される、1又は2以上のCDR配列を含む、請求項

1 に記載の治療剤。

【請求項 5】

抗 F G F 2 3 抗体が、配列番号 1、配列番号 2、配列番号 3、配列番号 4、配列番号 5、及び配列番号 6 の C D R 配列を含む、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 6】

抗 F G F 2 3 抗体の重鎖が、配列番号 7 の配列を含む、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 7】

抗 F G F 2 3 抗体の軽鎖が、配列番号 8 の配列を含む、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 8】

抗 F G F 2 3 抗体の重鎖が、配列番号 7 の配列を含み、前記抗 F G F 2 3 抗体の軽鎖が、配列番号 8 の配列を含む、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 9】

抗 F G F 2 3 抗体が、非経口投与、皮下投与、静脈内投与、筋肉内投与、又は腹腔内投与される、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 10】

抗 F G F 2 3 抗体が、皮下投与される、請求項 9 に記載の治療剤。

【請求項 11】

抗 F G F 2 3 抗体が、薬学的に許容される担体と共に投与される、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 12】

被験者が、ヒトである、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 13】

被験者が、小児被験者である、請求項 12 に記載の治療剤。

【請求項 14】

抗 F G F 2 3 抗体が、約 0 . 8 m g / k g の用量で投与される、請求項 1 に記載の治療剤。

【請求項 15】

抗 F G F 2 3 抗体が、約 1 . 0 m g / k g の用量で投与される、請求項 1 に記載の治療剤。